

フォトグラフ☆

令和3年度 R4年3月2日(水)

<3・4年福祉学習>

子どもたちに身近な存在である、武庫小学校の大先輩、齊藤晃司さんと盲導犬「フレデリカ」をゲストティーチャーにお迎えし、お話を聴かせていただきました。



齊藤さんは、交通事故で両目の視力を完全に失いました。失明直後は、人生に絶望していた齊藤さんでしたが、目が見えなくても走れることを知り、障害者のオリンピック「パラリンピック」を目指されました。盲導犬と共に大学で学び、シドニーパラリンピックに出場。そして、アテネパラリンピックを含む、7度



の国際大会に参加し、金銀銅、5つのメダルを獲得しました。今日は、そのメダルも持ってきてくださいました。実際にメダルを手にした子どもたちは、その重量感に驚いていました。また、東京2020パラリンピックの聖火ランナーを務められた時のトーチも見せていただきました。



「クロックポジション」と言われる、方向を知らせる手段があります。伝えたい相手から見て、手前が6時、向こう側が12時、右手が3時、左手が9時と伝えることで、方向や場所を知らせることができます。



ブラインドサッカーは、ボールの中の鈴の音を頼りにサッカーをします。齊藤さんは、ブラインドサッカーでも、日本代表に選ばれました。

ユニバーサルデザインや盲導犬との生活などについても、たくさんお話をしてください、子どもたちはメモを取りながら一所懸命聴いていました。工作中的盲導犬に

は、話しかけたり、触ったりしてはいけないことなど、たくさん学ぶことができました。

ありがとうございました。

